

この手らと

第12号平成29年1月

まことの保育



挨拶が一日のはじまり

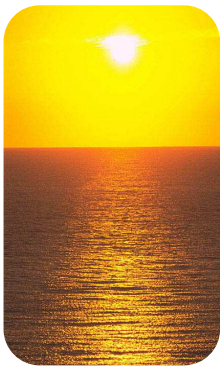


鹿児島竜谷学園和光幼稚園

園長 川口公男

何となく 今年はいい事あるごとし
 元日の朝 晴れて風無し (石川啄木)
 元朝や 経の声する大寺に かげろう
 もゆる 軒下の土 (与謝野晶子)
 正月や 子どもになりて みたきかな
 (小林一茶)

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。



一年の計は元旦にあり、和光幼稚園職員としての一年の計は、「子どもたちの成長を保障できる職員となるべく、日々精進努力する」です。

みなさまの一年の計それぞれありましようが、石川啄木の短歌にありますように「今年はいい事があるごとし」と信じて、幸せな一年を送られることを念じ申し上げます。

さて、高浜虚子は「去年今年 貫く棒の ごときもの」と詠んでいます。去年、今年と年が変わろうとも地球は太陽の周りを365日かけて回転し続けており、太陽は東から出で、西に沈むなど天地自然は、貫く棒のごとく変わることなく、還流し続けています。去年の全てをリセットして、新たな気持ちでの一年の計もあるでしょうし、常に変わらない不易の一年の計もまた大事にする必要があると虚子の俳句から感じることでした。

七草祝



数え年7歳の子どもを対象に別院主催の七草祝が行われました。数え年は満年齢にプラス2歳ですので、本日の七草には5歳になりました年中組の子どもたちが多く参加してくれました。

この日には七草がゆと子ども式章が子どもたちに贈られました。お正月のごちそうに疲れた胃腸をいたわったり、青菜の不足しがちな冬の栄養補給をしたりするなどの効果があることから鹿児島県では、七草粥を食べるようになったということです。

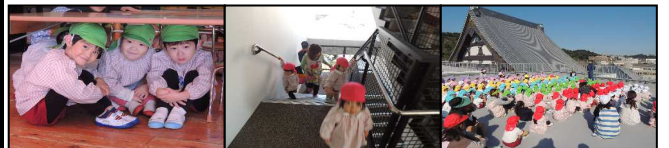
「せり」・・・食欲を増進する 「なずな」・・・下痢、腹痛を直す 「ごぎょう」・・・せき、のどの痛みをやわらげる 「はこべら」・・・胃や腸の働きをよくする 「仏の座」・・・高血圧を予防する 「すずな(かぶ)」・・・体の調子を整える 「すずしろ(大根)」・・・体の調子を整えたり、下痢をなおすなどと確かに無病息災につながるようです。

<シルバー川柳> 思わず、笑みが

- 「アーンして」むかしラブラブ いま介護
- 誕生日 ローソク吹いて たちくらみ
- つまづいた ふと見た床に 段差なし
- いびきより 静かなほうが 気にかかり
- おじぎして ともによろける 同窓会
- 飲め飲めと 差し出されるのは 薬だけ



地震・津波から子どもたちを守る訓練



地震、津波に対する防災訓練を実施しました。津波は別院宿舎の屋上(2.4m)に避難しますので津波から子どもたちを守ることができます。これからも子どもたちの命を最優先した教育・保育をしています。

三学期、よろしく申し上げます。(職員一同)